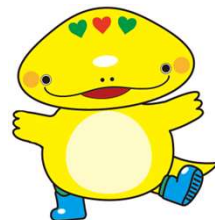




ともにんのお悩み相談コーナー



今回のお悩み

認知症で、難聴もある利用者様に、何度も同じことを大きな声で説明する際、どのような声掛けが理想的でしょうか？



筆談。話ながらジェスチャーを入れる



筆談を活用する。ジェスチャーも活用する。
補聴器を使用してみる。



ゆっくり大きな声でジェスチャーも
交えながら会話する



丁寧に声掛けする



その方に聞こえる声で分かりやすくハキハキと伝える



紙に書いて伝え、目を見て身振り手振りで伝える。
何度聞かれてもその都度同じ対応をする



身振りを交えたり、文字や紙に描いて説明する



ゆっくり大きな声で伝える。場合によっては紙に書いて伝える



紙に書いて伝える。「さっき聞いた」とは言わない



限度のある声の大きさと言ひ方、声のトーン、表情を考えた接し方



非言語も取り入れる。筆談を行ってみる



紙やホワイトボードに書いて見えるように説明する



ボードに説明を書きお話しをしてみる



ゆっくり簡単な言葉で短く話す。初めて聞かれたような対応



利用者の目線と同じくらいの高さでゆっくりはっきりと声かけ
を行う。難聴もあるため、視覚的にも説明できるように、写真
や絵カードを用いながら大きな声で声かけする。



たくさんお話ししてもいいですか？



優しく教えてくれてありがとうございます。次は私の
ような声の大きさに話せますか？と優しく寄り添う



話を聞いてから「～ですね」と利用者様が話した内容を伝えてから
「先程おききましたよ」と伝える



言葉では分かりにくい場合、実際にやって見せたり、
「一緒に〇〇しませんか」と言って一緒に行ったりする



他のスタッフと変わったりして声掛けする。ゆっくり話す

